

都立光丘 高等学校 令和5年度（1学年用）教科

芸術 科目 書道 I

教科：芸術

科目：書道 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1-6組：赤嶺二三代）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（書道 I（光村図書） ペン習字の基礎（教育図書））

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】書道3分野と臨書・鑑賞・創作の学習方法を理解する。漢字・仮名の古典を学習する。

【思考力、判断力、表現力等】古典に基づく基本的な用筆・運筆、字形、構成などを生かした表現を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書を愛好する心情を養う。

科目 書道 I

の目標：

| 【知識及び技能】                                     | 【思考力、判断力、表現力等】         | 【学びに向かう力、人間性等】         |
|--|------------------------|------------------------|
| ①各書体における基本用筆を習得している。<br>②古典の書体や書風と用筆運筆について理解 | 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、 | 古典の価値とその根拠について考え、書のよさや |

|             | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容  | 表現     |   |   | 鑑賞 | 評価規準      | 知 | 思 | 態 | 配<br>当<br>時<br>数 |    |
|-------------|--|--|--------|---|---|----|-----------|---|---|---|------------------|----|
|             |  |  | 漢<br>仮 | 漢 | 仮 |    |           |   |   |   |                  |    |
| 1<br>学<br>期 | 自分の書道道具を確認し、配置や取り扱い方、保管の決まり事、各道具の使用方法を今一度確認する。                         | ・自分の書道用具の確認<br>・一年間の授業の流れを、教科書に従って大まかに理解する<br>・各書道道具の取り扱い方を今一度確認する<br>・書道室の使用方法的説明 | ○      |   |   |    | 行動観察      |   |   | ○ | ○                | 4  |
|             | 唐の四大家の代表作品を題材に、自分がもともと持っている線質や書風・好みの傾向を知り、漢字楷書に様々な作品があることを理解し、興味を持たせる。 | ・教科書により、唐の四大家の代表作品を比較し特徴を見つけ、鑑賞する<br>・半紙に縦横画、転折画などを書き、自分の筆法の傾向を確認する                |        | ○ |   | ○  | 行動観察      |   |   | ○ | ○                | 4  |
|             | 初唐三大家の楷書作品を教科書を用いて拡大臨書し、楷書臨書技術の向上を図る                                   | ・「孔子廟堂碑」・「九成宮醴泉銘」・「雁塔聖教序」を臨書する<br>・各書家の筆遣いの特徴をつかんで、楷書にいろいろな書風があることを臨書しながら体感する      |        | ○ |   |    | 行動観察 作品制作 |   |   | ○ | ○                | 12 |
|             | 初唐三大家以外の楷書作品を、顔真卿作品を中心に紹介し鑑賞する。唐時代の楷書の知識をまとめる。                         | ・顔真卿の作品紹介と鑑賞<br>・摩崖の書の紹介、方勢と円勢の趣の違いなどを作品を通じて理解する                                   |        | ○ |   | ○  | 行動観察      |   |   | ○ | ○                | 4  |
| 2<br>学<br>期 | 漢字五書体のうち、「行書」に関して鑑賞・学習する。日中両国の代表的な行書古典作品を教科書を用いて拡大臨書し、行書臨書技術の向上を図る     | ・書聖 王羲之「蘭亭序」の鑑賞と拡大臨書<br>・日本の高僧 空海「風信帖」の鑑賞と拡大臨書                                     |        | ○ |   | ○  | 行動観察 作品制作 |   |   | ○ | ○                | 10 |
|             | 漢字五書体のうち、「草書」に関して学習する。中国隋時代の智永「真草千字文」鑑賞・臨書学習により、草書臨書技術の向上を図る。          | ・智永「真草千字文」の歴史的価値をしり、楷書とそれに対応する草書の文字を書き比べながら、草書体を身近に感じ興味を深める。                       |        | ○ |   | ○  | 行動観察 作品制作 |   |   | ○ | ○                | 8  |
|             | 漢字五書体のうち、「隸書」に関して学習する。後漢時代の「曹全碑」鑑賞・臨書学習により、隸書臨書技術の向上を図る。               | ・隸書特有の筆法を理解したうえで、繰り返し学習し体得する。<br>・「曹全碑」の歴史的価値や書風を理解したうえで、鑑賞し拡大臨書する。                |        | ○ |   | ○  | 行動観察 作品制作 |   |   | ○ | ○                | 7  |
|             | 3学期からの篆書体の学習・落款印制作実習に先がけて篆書篆刻辞典で、自分の名前を調べ確認する。                         | ・篆書篆刻辞典により、自分の名前の字体を確認する。  |        | ○ |   |    | 行動観察      |   |   | ○ |                  | 1  |

|             |   |   |   |   |   |                  |   |   |   |   |        |
|-------------|---|---|---|---|---|------------------|---|---|---|---|--------|
| 3<br>学<br>期 | 漢字五書体のうち、「篆書」に関して学習する。篆書臨書技術の向上を図り、落款印制作を楽しむ。                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・篆書特有の筆法を理解したうえで、繰り返し学習し体得する。</li> <li>・2学期末に調べた自分の名前を半紙に篆書の筆法で書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1センチ角・2, 5センチ角印材に刻字する。</li> </ul> </li> </ul>             | ○ |   |   | 行動観察 作品制作（落款印制作） | ○ | ○ | ○ | 9 |        |
|             | 日本での書文化の発展の歴史を理解し、仮名の古典を学習する。古典に基づく基本的な用筆・運筆を理解し、繰り返し練習し体得できるよう努める。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮名小筆の取り扱い方を学ぶ。</li> <li>・運筆の反復学習。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平仮名・変体仮名单体の臨書学習</li> <li>・仮名連綿の理解と古典を用いての臨書学習</li> <li>・「蓬萊切」の臨書学習</li> </ul> </li> </ul> |   | ○ | ○ | 行動観察             |   | ○ | ○ | ○ | 11     |
|             |   |   |   |   |   |                  |   |   |   |   |        |
|             |   |   |   |   |   |                  |   |   |   |   |        |
|             |   |   |   |   |   |                  |   |   |   |   | 合<br>計 |
|             |   |   |   |   |   |                  |   |   |   |   | 70     |